



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社
 コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 智成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 塚正 勉
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 044-813-8026

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,666	7.5	50	15.7	2	97.4	76	
2019年3月期第2四半期	3,962	5.6	59	45.2	84	26.9	5	92.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 184百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 150百万円 (23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	93.52	
2019年3月期第2四半期	6.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	12,469	10,292	82.5	12,505.95
2019年3月期	12,913	10,510	81.4	12,770.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 10,291百万円 2019年3月期 10,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		50.00		40.00	90.00
2020年3月期		50.00			
2020年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	4.4	270		280		140		170.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	842,520 株	2019年3月期	842,520 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	19,552 株	2019年3月期	19,552 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	822,968 株	2019年3月期2Q	823,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中通商問題や英国のEU離脱問題、長期化が懸念される日韓問題などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いており、中国においては、投資抑制策の影響で内需の回復が遅れているほか、米国による関税引き上げの影響を受けて外需も低迷するなど力強さを欠いております。日本経済につきましても、世界経済減速の影響を受け輸出が低迷し、設備投資に慎重な姿勢が見られるなど、減速傾向が強まっております。また、当社が属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましては減少傾向が続き、市場全体が低迷いたしております。

このような環境の中、当社グループは4ヵ年の中期経営計画「Change100」のもと、産業用スイッチの分野において、「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番に選ばれるスイッチサプライヤー」となるべく、「グローバル化対応」と「勝てる武器の創造」を軸とした基本戦略を推進し、お客様の困りごとにお応えするソリューションビジネスへの転換を進めると共に、インターネットによる販売強化に努めるなど、積極的な施策を展開して参りました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,666百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は50百万円（同15.7%減）、為替差損が73百万円発生したこと等により経常利益は2百万円（同97.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は76百万円（前年同期は5百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、セグメントの概況は次のとおりであります。

① 日本

貿易摩擦の激化や中国経済の減速などによる世界経済の不確実性、消費増税による景気の下振れ懸念など、依然として先行き不透明な状態が続いております。こうした中、当社グループの販売強化項目である「特定市場」や「ソリューションビジネスの確立」に取り組むなど、積極的な施策を展開して参りました。この結果、当第2四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は前年同期比5.1%減、グループ間の取引を含んだ売上高は3,200百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

② 米国

米国経済は底堅く推移しているものの、通商政策をめぐる不確実性の高まりや、世界経済の減速傾向などから、製造業を中心に設備投資に減速感が強まり、予断を許さない状況が続いております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つであるカタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」に取り組むなど、積極的な施策を展開して参りましたが、大手ディストリビューターに今後の情勢に対する様子見傾向が強まり、在庫を絞った影響が大きく、この結果、当第2四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比10.1%減、為替の影響も含め1,093百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

③ アジア

米国に端を発する各国・地域間の貿易摩擦拡大による影響や中国経済の減速など、先行き不透明な状況で推移しております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つである「特定市場」に取り組むなど、積極的な施策を展開して参りました。この結果、当第2四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比7.9%減、グループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響も含め2,194百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は12,469百万円（前連結会計年度末比444百万円の減少）となりました。

主な要因は、現金及び預金（同138百万円の減少）、受取手形及び売掛金（同126百万円の増加）、商品及び製品（同124百万円の減少）、原材料及び貯蔵品（同125百万円の減少）、その他流動資産（同128百万円の減少）によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,176百万円（前連結会計年度末比226百万円の減少）となりました。

主な要因は、買掛金（同80百万円の減少）、その他流動負債（同218百万円の減少）、その他固定負債（同97百万円の増加）によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,292百万円（前連結会計年度末比217百万円の減少）となりました。

主な要因は、利益剰余金（同109百万円の減少）、その他有価証券評価差額金（同68百万円の減少）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月8日付にて公表した通期業績予想につきましては変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,080,910	4,942,887
受取手形及び売掛金	1,223,030	1,349,661
商品及び製品	1,118,379	993,649
仕掛品	87,812	89,411
原材料及び貯蔵品	1,298,465	1,172,578
その他	319,445	190,759
貸倒引当金	△2,654	△2,706
流動資産合計	9,125,388	8,736,242
固定資産		
有形固定資産	2,173,965	2,234,857
無形固定資産	137,501	120,718
投資その他の資産	1,476,482	1,377,341
固定資産合計	3,787,949	3,732,917
資産合計	12,913,338	12,469,159
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,057,682	977,321
未払法人税等	18,652	12,529
引当金	130,595	106,255
その他	734,890	516,461
流動負債合計	1,941,821	1,612,567
固定負債		
退職給付に係る負債	103,527	106,013
役員退職慰労引当金	170,380	173,070
その他	187,441	285,100
固定負債合計	461,348	564,184
負債合計	2,403,170	2,176,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,531,705	8,421,823
自己株式	△161,772	△161,772
株主資本合計	10,155,037	10,045,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	413,180	344,893
為替換算調整勘定	△58,414	△98,052
その他の包括利益累計額合計	354,766	246,840
非支配株主持分	364	412
純資産合計	10,510,168	10,292,408
負債純資産合計	12,913,338	12,469,159

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,962,517	3,666,236
売上原価	2,440,274	2,230,639
売上総利益	1,522,242	1,435,596
販売費及び一般管理費	1,462,770	1,385,481
営業利益	59,471	50,114
営業外収益		
受取配当金	15,664	14,558
受取賃貸料	14,857	11,420
その他	10,501	10,333
営業外収益合計	41,024	36,312
営業外費用		
支払利息	617	2,341
売上割引	5,459	3,376
賃貸収入原価	6,662	4,770
為替差損	3,523	73,745
その他	0	—
営業外費用合計	16,263	84,234
経常利益	84,232	2,193
特別損失		
固定資産除却損	1,251	755
特別損失合計	1,251	755
税金等調整前四半期純利益	82,981	1,437
法人税、住民税及び事業税	63,886	51,452
法人税等調整額	13,938	26,900
法人税等合計	77,825	78,353
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,155	△76,915
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	47
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,068	△76,962

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,155	△76,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,282	△68,287
為替換算調整勘定	155,214	△39,638
その他の包括利益合計	144,931	△107,926
四半期包括利益	150,087	△184,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,000	△184,889
非支配株主に係る四半期包括利益	87	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しております。

これに伴い、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始時に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間における連結貸借対照表は、有形固定資産が100百万円、その他流動負債が2百万円、その他固定負債が100百万円それぞれ増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益及び1株当たり情報に与える影響は軽微であります。